

2023年度 臨時教員アンケート集計結果

・10月29日、徳島県内の公立小学校143、中学校71、高校33、特別支援学校12、計259校にアンケート用紙・依頼文を郵送。12月1日時点で、ネット回答が70名、郵送15名、計85名から回答をいただきました。回答してくださったみなさんにお礼を申し上げます。

・青文字は、質問文です。質問に該当しない方の回答は、「無記入」に入っています。

・記述回答は、内容によって大まかに分類し、小見出し【 】をつけました。なお、人物が特定される記述については、割愛させていただきました。

I. 属性について

- (1) 年齢 ①22歳以下：7 ②23～25歳：32 ③26～29歳：20 ④30～35歳：8
⑤36～39歳：3 ⑥40歳以上：15
- (2) 現在勤務の校種 ①小学校：26 ②中学校：32 ③高等学校：17
④特別支援学校：9 無記入：1
- (3) 担任など ①学級担任している：35 ②学級担任していない：44
③養護助教諭：4 ④その他：0 無記入：2
- (4) 臨時の種類 ①定欠：61 ②産休など代替補充：11 ③非常勤講師：5
④市町村費：0 ⑤その他：7 無記入：1
- (5) 徳島県での臨時教員経験年数(今年度まで) ①1年未満：24 ②1年～3年未満：23
③3年～5年未満：16 ④5年～7年未満：5 ⑤7年～9年未満：2 ⑥9年以上：14
無記入：1

II. 臨時教員の待遇改善について

* (1)は常勤講師の経験がある方、(2)～(4)は非常勤講師の経験がある方が答えてください。

(1)常勤講師の労働条件については、2020年度から、勤務条件の改善が一定進みました。しかし、「給料表が1級」「職名が講師」など、まだ課題があると考えています。常勤講師の労働条件についての要望を書いてください。

【正規と同じ仕事をしているのに…。均等待遇の要求】

・現場では、部活顧問、担任等教諭と同程度の業務をこなしています。部活指導においては、平日、週末とも教諭より長時間にわたり出勤していることもしばしばです。なのに、給料で大きな差があるのはやるせない気持ちになります。勤務中に寝たり、雑談して遅くまで残っている姿を見ると、自分は低い給料で頑張っているのに…と悲しくなります。

・給料表を教諭と同じようにしてほしい。同じ仕事量なのに貰える額が少ないとやる気が削がれる。このまま改善が見込めない場合は退職を考えている。

・臨時教員(常勤講師)は他の正規教員とほぼ同等の仕事量なのに対して賃金がかかなりの差が生じていると考えています。そのため、賃金を正規教員と同等までは言いませんが、もう少し上げていただけると大変助かるかなと思います。

・正直、教諭も講師も職務内容が一緒であるため、臨時任用の方々が講師と呼ばれる必要はないと思います。同じ教諭でいいのではないのでしょうか。

・講師であるにもかかわらず、実際は教諭の方々と同じように担任をし、校務を行っています。仕事自体に不満はありませんが、疑問は感じています。

- ・正職員と仕事内容がほとんど変わらないのにも関わらず給料表が1級なのはどうか。
- ・常勤講師の仕事量は、教諭の先生方とあまり大差はないと思います。しかし、給料の差が大きいのが課題なのではと思います。改善点としては、講師の給料を上げるか、校務分掌や教科の仕事(テスト作成をしない等)の改善が大事だと思います。
- ・正規職員と同様の仕事を任されるのであれば、給料も上げてほしい。または教員採用試験の勉強時間の確保を保障してほしい。
- ・常勤講師は正教諭と同じ業務内容であるため、給料表は2級であるべきだと考える。職名が講師であることについては、採用されていないことを踏まえると、妥当ではないだろうか。また、6月の賞与も毎回更新されるため正教諭に比べれば損をしている。少なくとも業務内容が正教諭と同等である以上、立場も同等であるべきだ。そうでなければ、正教諭だけが行う業務内容を設ける必要があると考える。
- ・同じ労働量もしくはそれ以上に働いているにも関わらず、難しい待遇になっている事実に対し違和感を感じる。
- ・教諭と講師は同じような条件で勤務している。給与や年休などの待遇も均等にすべきである。
- ・同じ職務内容のため、給料表は同じにして欲しいと感じています。

【勤務時間削減と勉強時間確保】

- ・担任と顧問をしていて勉強する時間がない。
- ・副担任や部活動によっては勉強する時間が確保できない。教諭不足のしわ寄せが、受かっていない人たちにも来ていて、勉強時間の確保が難しい。
- ・教諭の方もそうだが、毎日のように、18時、19時に退勤。終わらなければ、自宅での作業もしばしば。業務量が減らないと、勉強時間の確保が難しい。
- ・常勤講師には担任や顧問はさせず、副担任や副顧問で勤務するほうが良いと思う。担任や顧問をしていると教員採用試験のための試験勉強をする時間が少なく、なかなか合格までいかない方もいらっしゃる聞いた。そのために定時で必ず帰れるように、講師の仕事量も考えるべきだと考えている。

【給料について】

- ・給与にあった勤務環境。または、勤務量にあった給与。 ・給料の賃上げ
- ・給料と勤務時間が見合っていない。土日出勤の分も出すべきだ。

【研修】

- ・研修数を増やし、正規教員になった際に備えたい。 ・研修等が少しはあった方がよい。

【職名】

- ・職名が講師である。給料表が1給である。
- ・小学校教諭一種の免許を持っているのにも関わらず、役職が講師として一線引かれるのは当初から今までずっと気になっています。

【他の具体的な要求も】

- ・人事異動が終業式の日に分からないので、離任式の出欠が非常に困る。
- ・次年度の働く学校の早期確保。早めに決まってくれないと次年度も同じ都道府県で仕事があるか不安になる。
- ・任期が終わり間があくと年休が消えてしまったり書類などもたくさん書かないといけないのが

大変です。

- ・健康診断は年1回だけでよい。2回もレントゲン写真4月と定期健診時は抵抗を感じる。
- ・休暇は、全て使うことができないので残りの有給は、お給料で支給するか？休みの日を、取得しやすい環境になってほしい。

【こんな意見も】

- ・本校は仕事量を減らしてくださっているので、ありがたく思っています。そのため、給与については仕方がないと考えています。 ・今のままでいいと思います。
- ・正規採用の教職員と区別する必要があるのなら仕方がないことなのではないでしょうか。
- ・無期限雇用を約束してくれるなら、構わない。
- ・1年契約でなく常勤講師を定年まで働く形に変えてほしい。

(2)徳島県では、非常勤講師は、年間 31 週分の授業時間しか認められていません。指導要領では、年間の授業時間は 35 週です。これについてあなたはごどう思いますか。

- ①35週まで引き上げてほしい： 12 ②35週より多く認めてほしい： 8
③今のままでよい： 9 ④わからない：8 無記入：48

(3)非常勤講師をしていた(いる)時、授業時間以外に勤務する必要があり、無報酬で働いた経験があればどのような内容であったかを書いてください。

【テスト作成・採点、授業準備など】

- ・テストの作成や採点など ・採点 ・テストの採点 ・テストの採点、生徒指導
- ・定期考査の作成・採点、授業準備 ・テストづくり、テスト問題、プリントづくり、教材研究等
- ・採点、ノートチェック、質問の対応、小テストの再テスト、会議などは無報酬でした。
- ・授業準備(スライド、プリント作成)、テスト問題作成、採点、授業評価、受験指導
- ・教材研究、テスト作成、テスト採点、提出物の確認 ・授業準備
- ・テスト作成、丸つけなどがあつたが、時給が高いのでその分込みだと思っている。
- ・授業準備や成績処理、課題や試験問題作りなど ・考査問題の作成・採点、授業準備、成績評価
- ・授業準備、作品管理、テスト作成、採点、成績付け、評定打ち込みなどは全て授業時間外に行っています。週に1日しか行っていない学校であれば、次の日に持ち込めないため、クラス数や生徒人数に合わせて、その量は増減します。
- ・3観点による評価が導入され、評価の時間が大幅に増加したにもかかわらず、成績評価の時間の分の給料が十分に支給されない。

【こんなことも】

- ・授業準備、テスト制作及び採点・成績をつける、夏休みの課題採点、応募のための審査、卒業アルバム編集作業 ・補習、進路指導
- ・学校行事への参加や成績処理関係で勤務日以外にも出勤した。
- ・生徒指導で問題が起こったときに、担任に伝えるため時間の余裕のある放課後まで残っていたりする時間、成績処理、テスト作成・採点、教材準備のための時間
- ・学校行事で教員の数が少なく、手伝った。 ・グラウンド整備、体育祭の準備
- ・県立の寮に勤務した経験がありますが、宿泊を伴って大変です。寮は、常勤講師として扱ってほしいです。

(4) 年度末に時間数の制限で授業ができなかった経験など、非常勤講師の労働条件で改善してほしいことを書いてください。

【労働条件の改善】

- ・交通費の大幅増と授業時数の増加。当日、子供の体調不良などが発覚した先生の代わりに、私が多くの授業を代わりに実施する必要がありましたが、週15単位を超えて担当させてもらえませんでした。
- ・非常勤だとPCがないことが多いので、成績の時期に大変だった。PCを置くか、非常勤はT2に限定した方がいい。
- ・年度末や、行事の関係で授業がなくなるときについての配慮があると良い。
- ・授業時間数よりも夫の扶養に入っていると、社会保険や税金の兼ね合いのせいで、授業に入れないなど制約があったので、非常勤でも社会保険等に入れるような時間数働けると大変助かります。
- ・賞与の支給、健康診断の受診、保険の加入
- ・月毎に収入が変わり、不安定であること。
- ・テストや行事の時期に時間数が減ること
- ・長期休業期間、給料がないのは生活が厳しい。
- ・家庭を持つ人が安心して生活ができるようにしてほしい。
- ・交通費の別途支給
- ・できるだけ授業に入れるようにしないと、年度末などのお給料が少ないので生活が苦しい。
- ・数年前から交通費支給ということで、時給が300円程下がったことにより、収入がかなり減少した。

【学校の問題も】

- ・教務担当の人によって対応が違うこと。時間数を細かく気にかけて取り組んでくださる人と、そうでない人の差が大きい。

(5) 現在、臨時教員のなり手が足りず、「教員不足」の問題が起こっています。次のうち、この問題を改善するために、有効だと思うものを選んでください。*複数回答もかまいません。また、下の□に、この問題についてのあなたの意見を書いてください。

- ①臨時教員の待遇改善：4 9 ②教職員全体の労働環境の改善：5 7
③臨時教員募集の広報強化：7
④定欠などの臨時教員数を減らし、正規採用教員を増やす：5 1 ⑤その他：2

【正規採用教員を増やす】

- ・正規教員の採用数を増やせばいいと思う。
- ・正規採用教員を増やす。
- ・正規採用数を増やさずに教員不足といわれるのははなはだ遺憾である。
- ・正規採用も臨時も各学校に増やす。一人の負担が多い。校務と授業と部活は休日も仕事のことを考えないといけない。分業できたらいいのに。
- ・生徒数が減ってきているのもわかるが、正規採用をもっと増やすべきだと考える。
- ・一定の講師経験を積めば正式採用すればよい。部活の指導などの時間外労働に適切な報酬を支払う。
- ・定欠などの臨時教員数を減らし、正規採用職員を増やすことが大事だと思います。
- ・採用試験が年一回にも関わらず採用されている教員が〇〇名程度であることだと思います。そのため、『採用試験の回数を年2回にする』や『1回の採用人数を倍くらいに増やす』などをしていただくと学校が抱える教員不足の問題も多少なりとも軽減されると思いますし、採用人数が

多いことで、受験するというハードルを下がり、教員を目指す人が今以上に増えるのではないかと思います。

- ・なかなか合格できない、採用人数が少ないなどの理由により、一般企業に流れてしまうと思う。
- ・合格がしやすくなれば教員不足は解消されるとおもう。そもそもなりたくてもなれないのが現実。
- ・正規採用教員数の増加、労働環境の改善、この2点が絶対であり、最優先事項である。広報や教員の魅力をアピールすることは意味がなく、問題解決の本質とズレている。
- ・私は、現在養護助教諭として勤務していますが、毎年養護教諭の採用数は2～3名、倍率も高く、本当に狭き門です。もう少し、採用数を増やしいほしいと思います。また、数年前には(今の30歳代の方が採用された時代)、20名近く採用されていたということです。それを聞くと本当に苦しいです。

【臨時教員の待遇と採用制度の改善】

- ・教諭と同じように働いても給料に差があり、頑張っても(頑張ろうと思っても)モチベーションが下がってしまうことがあります。いい加減な人を見ると「採用されたら適当になってしまう人が多いな」と感じる場合があります。
- ・臨時教員に対しての正規採用方法をもう少し考えてほしい。もしくは、臨時教員の負担を減らすなどの対応が必要だと感じる。
- ・そもそも臨時教員が足りないと、教員不足が起こるということに問題があると思います。臨時教員は捨て駒ではありません。人事を根本から見直してほしいと思います。
- ・臨時でなら続けたいという人もいます。産休育休等の代わりは必要であるため待遇がよくなること、またそれを周知することは大切だと思います。
- ・臨時任用で一年以上勤務した者(見込み)に教員採用試験への一次試験免除を実現化を願います。また、大学3年生が教員採用試験を受ける制度を廃止した方がいいと思います。「今」教員が必要であるのなら、3年生の受験は意味はなく、即戦力となると考えられる教師を目指すものに合格という機会を多く与える必要があると思います。
- ・教員採用試験での合格が約束されておらず、何年も講師をしている人を見れば、教員になるのを諦めて、他の公務員等の職に就くのは当然です。
- ・何年も講師で働き、このまま受からなかったら、違う道に行くのが多い。不安しか残らないし、家庭を持つ人からすれば不安しかない。なので常勤講師を1年契約でなく、定年まで働くような職種を作してほしい。
- ・給与が低い
- ・来年度の仕事が無いかも知れない不安定さのため余程の事がなければ三年間など一定期間の働ける保証があれば良い。

【教職員全体の労働環境改善】

- ・あまりにも多い労働量、休みを削って子供たちのために一生懸命部活をしても給料はほぼ変わらない。子供達のことを1番に考えることは何より大切だが、その子供を支える教員の待遇はあまりにもひどいものがある。その改善をしないと、今後教員不足が解消されるとは思えない。私自身も、今後教員をするか悩む時もある。
- ・時間外労働が当たり前になっているにも関わらず、残業代が出ない。最近の言葉で言うと、定額働かせ放題な環境が若者が離れていく原因になっていると思う。
- ・残業代がほぼ出ない状況なので、それを改善することが大事だと思います。生徒の為にしっ

かりと準備をしようと思うと定時以降に準備をするしかありません。しかしその時間の給料が出ないとなると、教員全体の意識の低下に繋がると思います。

- ・労働環境の改善をいち早くするべきだと思う。世間では「教師は大変な仕事だ」というイメージが強く、実際に現場では仕事改革といいながらなかなか残業時間が減っていない。そういったイメージや事実がある以上、教員不足に歯止めをかけることは出来ないと思う。イメージや事実を覆すために、1学級あたりの児童生徒数の見直しや部活動の地域化の早期移行、学校に配置される教職員数の見直しなど、さまざまな面から労働環境の改善を行うべきだと考えている。
- ・生徒対応、保護者対応、事務的な業務など時代とともにより複雑になっているにも関わらず、教員数は変わらないので一人当たりの業務量が多くなっていると思う。財政的な問題で難しいと思うが、一人当たりの仕事量を減らすために教員の配置数を増やせたらと思う。そうすることで、教員をやってもいいかなという人材が増えるのではと思う。
- ・教諭の方もそうだが、毎日のように、18時、19時に退勤。終わらなければ、自宅での作業もしばしば。業務量が減らないと、勉強時間の確保が難しい。
- ・先生の仕事は、自分の時間がなかなか取ることができない仕事である。もっと、自由に休暇などが自由に取れるように、教員の定数を見直して、多くすることで自由な時間が取れると考える。
- ・給料を上げる、もしくは残業代が出れば増えると思います。
- ・やりがいはもちろんあるが、忙しすぎるので仕方がないと思う。給料の引き上げ等があってほしい。
- ・勤務時間や職務に対して給料が見合っていない。休憩時間もない。このことからブラックという印象が根付いており、教員不足に陥っている。
- ・労働環境、残業や保護者対応などに費やす時間が多く感じます。
- ・労働環境が整備されなければ年々仕事量が増え、なり手が不足する。
- ・業務量の多さ、時間外勤務の手当なし。 ・給料が低い。 ・授業外の業務が多い。
- ・教科担任制を導入して、教員1人1人の負担を減らせばいいと思う。
- ・教科担任制にするなど、1人の負担を低くするのが効果的なのかと思う。
- ・業務の細分化や明確化が行われていないことで業務分担が不十分であり、必要な人数の算出が出来ていないと感じる。 ・勤務時間に対しての給料が見合っていない
- ・教師の仕事と雑務の仕事を分けて考え、それぞれに人員を確保するべきと考える。
- ・労働環境の改善と臨時教員も含めた教員の報酬を上げる。
- ・時間外労働や業務量に見合った給料ではないと思う。 ・労働環境を見直して欲しい。
- ・ブラックのイメージしかない、タダ働き、教育にお金をかけなさすぎ。
- ・フレキシブルの導入。給料あげる。定時に帰る、土日の部活なしを選択できる。
- ・給料をあげると少し増えるのではないかと考える。 ・人数に対して業務が多すぎる。
- ・長時間労働など教員をこれから続けられる自信が無くなるような環境を改善して欲しい。
- ・教員が必ずしもする必要がない仕事(時間割作成、変更、学級費引落作業等)を事務員を増やして、任せたい。 ・労働時間が長い、業務が多い、など
- ・部活動や担任特別手当は必要だと感じます。 ・人をもっと増やすべき
- ・教職員全体の労働環境の改善 ・勤務条件や給料の改善 ・時間外の労働が多すぎる。

【こんな意見も】

- ・教員の魅力よりも「大変そうだ」という印象が強いことだと考えます。また、友人からは「生徒を育てるなんて私にはできない」とよく言われます。私自身は、今の子供達に、「先生みたいに

なりたい」と思ってもらえるような教員になりたいです。私が今、目の前の子供達と誠実に丁寧に向き合い、努力していけば、1人でも「先生になりたい」と思える子供が増えてくれると思います。私がそうだったからです。

・教員がみんな大変そうにしているから、周りも大変に見えるんだと思います。大変でも、それを助け合いながら毎日楽しく仕事している教員たちを見れば、この仕事が魅力的に映ると思います。

・今の教員の悩みの一つがICTだと思います。「うまく動かなく、すぐに固まってしまうのに、ICTを使うようにいわれる…」と悩んでいる声を聞きました。私は恵まれ、ICTがしっかり整備されている学校で勤めることができますが、学校の教員では解決できないICT機器の問題は、他の学校の先生にだいぶ負担だと思います。まずは、できるだけ早く、全ての学校へのWi-Fiの十分な整備やタブレット端末を見直すべきだと思います。形だけ、多くの学校に配布をしても使えないと意味がありません。お金も時間も、人もたくさん必要だと思いますが、せめて教員が、「ICTがあれば便利」だと思えるように、端末を使えるようにすることが、教員のストレス解消、その先に教員を目指す子供たちが増えていくのではないかと考えます。

・努力して教師になっても辞めてしまう人がいるから教員不足が深刻だと思います。そうならないためには、本人の工夫も必要ですが今の現状(ブラック)を変えなければならないと考えます。

・働きだすどうしても学校が優先順位の上に入ってしまう、我が子のイベントに出にくかったり、被ったりして、参加できない面がある。我が子を優先しても大丈夫だよという環境は必要だと思う。子供が子供でいる時間はわずかなので、それを奪われると辛いと思う。

・一般企業のような、昇給制度をよりわかりやすく、目に見える形にするとひとつのモチベーションになるのではないかなと思います。 ・ブラックのイメージが世の中につき過ぎている。

・ボーナス等，どちらかと言うと減点方式での決定に思えるので，頑張った人が頑張った分だけ損をしている錯覚を起こしてしまいます。

・勤務業績などで給与が決まるのではなく、勤務年数で給与が決まるという形で魅力を感じない（周りより多く働いても周りよりも給料が少ない）。

・全ての学校での話ではないが、高年層の仕事量が少なく、その分若者にシワが寄っている。

・要求が増えた。 ・今のままでは仕方ない ・実際現場にいても教員が不足していると感じる。

Ⅲ. 採用制度について

★採用審査を受けている方にお聞きします。

(1) 文部科学省は、採用審査の早期化(6/16基準日)を求めています。あなたの意見は次のどれですか。また、その理由を下の□□□□に書いてください。

①賛成： 8 ②反対： 33 ③わからない：31 無記入：13

【贊成】

・7月は学校では期末考査、部活動では県大会が開催されるなど様々な方面で行事が盛り沢山なので、あまり行事がない6月ごろに実施してもらえると対策もしやすく、受審しやすくなると考えたからです。 ・早めの方が業務に影響が出ない気がする。

・従来の時期だと学期末と重なり、多忙を極めるから。 ・7月は学期末で忙しいから。

- ・早期に行う事で、その後の選択肢が増える事や、採用審査を年内に2回できる可能性が出てくるため。

【反対】

- ・私は、4月から講師として学校に勤め、その経験が採用試験の勉強に結びつきました。教員としての質が少し上がったと考えます。受験をしても、受験者の質が落ちてしまえば意味がないし逆効果だと考えます。また、学生でなく現場で働く私たちは、学校生活がバタバタしている間に採用審査を実施すると、負担が大きくなります。夏休みの間に受けられる今がありがたいため、早期化に反対です。
 - ・6月は年度初めのため、忙しいから。
- ・中学校では6月中に運動部の総体や大会などがあり、試験に集中することがなかなか難しい。8月の夏休みに入った段階で試験を行えば、現役の先生方も落ち着いて受けることが出来るのではないかと考える。
 - ・勉強する時間の確保が難しくなる。
- ・6月に採用試験を実施となると、前年度から勤務地が変わらない先生の方が圧倒的に有利になると思います。新年度から勤務地が変わった先生は、まずはその環境に慣れることに時間を割かれ勉強をする時間があまり取れないと思います。また教育実習の期間に被る学生も出てくると思うので、これらの改善策を設けてから変更をすることが大切だと思います。
- ・学校によっては5月や6月に授業参観や運動会等の行事があり、慌ただしく採用試験の準備が充分できない。
 - ・体育祭やブロック総体の時期に被るのは、非常に厳しい。
- ・現在の日程も、夏休み前の忙しい時期のため、以前と同様、夏休みに入ってから日程がいいのではないかと感じる。
 - ・総体など6月は忙しいため。
- ・大学生は教育実習、講師は総体の時期で勉強時間の確保が厳しい。
- ・採用審査の時期を早めても、受験者数は変わらないと思います。
- ・学校に負担がいくから。
 - ・これまで通りで良い
 - ・あまり変わらないと思う。
- ・現在、臨時任用として小学校に務めています。採用試験への対策に取れる時間がありません。
- ・学校現場は、年度が始まってからの忙しい時期であるため。
- ・勉強時間が確保できない。
 - ・いまのままでよい
- ・養護教諭は6月は健康診断などで忙しいため。
 - ・6・9月は学校が繁忙期である。
- ・あえて忙しい時期に実施しなくても良いのでは。
 - ・時期には問題が無いと思うから。

【わからない】

- ・教員不足の根本的な原因解決として効果はあまり見込めない気がするから。
- ・審査日は、なるべく業務に負担がない時期がいいが、6月頃が忙しいかどうか分からない。
- ・受ける側としては別にいつでもいい。ただ、採用する側としては、早めに人材を確保したいという状況はわかる。
 - ・早くても遅くても、徳島は採用が少ないので結果は同じだと思う。
- ・そのときによって忙しいかわからないから
 - ・どちらでも変わらないと思うから。
- ・早期化したところで教員不足やブラックなのは変わらないため。
- ・早くても遅くてもそんなに変わらないと思います。
 - ・どちらでも良いから。

【その他の意見】

- ・どうあれ、採用の仕方に問題があると思う。現場で、しっかりと出来る人を採用しないとダメです。ペーパーテストが取れたから、なんかはナンセンスな事。中学では、講師が正担任をするのが当たり前です。できない教諭がやれば、学級崩壊してしまう。それが、現実です。
- ・何かしらの待遇改善をして頂けると、職務と採用試験の勉強を両立することがさらにできると思います。
- ・早期化したところで、教員不足が解決するとは到底思えない。なぜならば、教員不足の根底

にある問題は労働環境にあるからだ。早期化する意味は無い。

- ・臨時教員をしていると対策に困るのでそのままにしてほしい。
- ・学期初めは忙しく、勉強する時間がないため。 ・採用試験に向けて目標を立てる為
- ・学校が変わった場合、環境に慣れる前であるため。
- ・中学校臨時では、部活動の大会と被るため、時間が確保しづらい。また、当日大会に行けないのは生徒や顧問に申し訳ない。 ・異動の際に準備が大変であるため。
- ・早期化すべきは、1次審査より2次試験の結果が分かる日(一般企業でいう内定の日)なのかなと思います。

(2)徳島県では、昨年度より採用審査結果によって3年間か1年間、1次審査を免除する制度が始まりました。あなたはどのように思いますか。自分の考えに近いものを選んでください。

*複数回答可

- ①良い制度なので続けてほしい：40 ②あまり意味がない制度だ：5
③該当者を増やしてほしい：14 ④審査結果でなく、一定の臨時教員経験年数で1次免除してほしい：36 ⑤その他：1 無記入：8

*** 1次免除制度についてのあなたの意見を書いてください。**

【制度を評価する意見】

- ・とても良い制度だと考えています。ただ、長く講師経験を積んでいると、生徒の接し方や教える技術、知識も豊富となり、試験を受ける必要がない方もいらっしゃるかもしれません。そのため、希望としては該当者を増やすもしくは期限を設けて一定の経験年数で免除をするということも検討していただければと考えます。
- ・採用審査結果が良好であるならば、1次審査を免除することは良いことであると思う。
 - ・審査に落ちても、来年受けたい！というモチベーションの維持につながるので、続けた方がいいと思う。
 - ・良いと思う。
 - ・いいと思う。
 - ・条件付きでならいいと思う。
- ・しっかりと勉強をした人が報われるいい制度だと思います。
- ・ちゃんと昨年度の総合点を鑑みるなら、いいと思う。 ・とてもいい制度だと思う。
- ・免除にすることで採用数も増えると思うのでいいと思います。
- ・一次試験の審査結果の成績が良ければ、免除でいいと思う。
- ・免除制度が教員不足解消につながると思う。

【臨時教員経験による免除を求める意見】

- ・臨時教員をしている方は現場での実践をつんでいるので、面接等からで十分だと思います。さらに、臨時で働かせてもらっている学校の校長先生の意見などを審査側の人が聞くことができれば、さらにより教員を採用することができるのではと思います。
- ・審査結果ではなく、一定の経験年数で一次試験の免除を考えていただきたいと思います。現場年数を重ねられた経験豊富な先生や、校長や教育長からの推薦を受けた1年以上の現場経験がある教師が免除していただけることが良いと思います。
 - ・学校現場に出ると、勉強する時間がなかなか取れないのが事実だと感じる。大事なのは子供達と実際に関わって生活をした年数や経験だと思う。それは筆記試験の勉強をすることでは培われないものだと強く感じるため、臨時教員の年数で考える制度も大いにありだと思う。
- ・臨時していても免除にならないのはおかしい。 ・経験年数で免除が良いと思う。

- ・一定以上の専門性を確認でき、教員経験のあるものであれば一次審査の免除は妥当であると考えます。
- ・現場での経験が1番大切であると思う。そのためある一定の期間働いたものに関しては、二次審査のみで良いと思う。
 - ・経験が大事。
- ・常勤講師を10年以上の経験者は1次免除など作ってほしい。3年から5年までは論文免除。5年から10年までは論文、教養免除など。
- ・講師で、担任や生徒指導主事などを経験した人は、一次は免除してほしい。

【その他疑問や制度改善への要望】

- ・一次試験を一度でも通過した人間は免除でも良いのでは？
- ・筆記試験が最も負担が大きい。特に教職教養に関しては、必要性を感じない試験のため、やめてほしい。
 - ・経験年数での免除は質が下がるのでよくないと思う
- ・免除の条件を具体的に示してほしい。
 - ・特別選考7はどう言う基準で選んでいるのか知りたい
- ・臨時(講師)で、働いている間は、平日に勉強することが難しい。臨時の方でも、何年か経験して、上手くいっている方もいると思うから。
- ・一次審査免除の基準がわからないので、理解不能。
- ・それによって1次から受けている人の採用数が減ってしまうのはどうかなと思う。
- ・成績優秀者が免除になる制度は良いが、特に採用枠が少ないため、免除の人が多数になるばかりである。
- ・免除にすること自体は問題ではないが、免除枠を広げることの危険性も考えるべきではあると思います。
- ・免除の枠をもっと広げてほしい。モチベーションにつながらない。なかなか受からない人が来年度を諦めようとしている。志望者数の低下を県や国自ら引き起こしているような感じ。
- ・増やしすぎると、新社会人になる人や転職により目指す人、県外からの採用試験受験者のハードルは高くなり挑戦しづらくなるかと思います。
- ・家のこと、学校のこと、試験とどうしてもキャパがオーバーしてしまうので、可能なら数日に分けて、1日でして欲しい。
 - ・そもそもその制度についてあまり理解していない。

(3)あなたは、今後採用審査をどのように受けていこうと考えていますか。次から自分の考えに近いものを選んでください。 *複数回答可

- ①当面は採用になるまで受け続ける：37 ②年齢・回数を決めてそれまでは受け続ける：23 ③他県も併願し、採用になった県に就職する：13 ④今年で、別の道に進む：7 ⑤採用審査を受けずに臨時教員を続けていく：9 ⑥その他：3 無記入：12

* 今後の採用審査受審についてのあなたの考えを書いてください。

【教員を目指し努力する】

- ・私は、講師をしてみても、教員以外の仕事に就きたいと思えません。そして、講師をする上で担任を持つことに憧れを持つようになりました。何度でも採用審査を受けて、憧れを現実に行えるよう努力したいと考えています。
 - ・がんばります。
- ・今後も採用されるまで粘り強くがんばっていこうと考えています。来年度は他県の採用試験にも挑戦し、傾向と対策ができればとも考えています。

- ・徳島県で教員を続けていこうと思っているので、しっかりと受審します。
- ・採用してくださるよう頑張っております。

【臨時教員経験が評価される採用制度に】

- ・希望としては、上記で述べさせていただいたとおり、一定の講師経験で試験を免除あるいは採用していただけたら教員不足の問題の解消にもつながるし、教員を目指している若い世代の受験する、教員を目指すハードルを下げることもつながると思います。
- ・本当に現場に出て必要になる知識・技能を審査してほしい。教養試験の内容を、試験を実施する側はきちんと身に付けているのか。 ・学校の様子も見してほしい。
- ・常勤講師を10年以上の経験者は1次免除など作ってほしい。
- ・臨時(講師)の方は、教諭の方と同じような業務量で、平日退勤するのが、18時、19時になるのが、ほとんどの中、なかなか、勉強するのが難しい。(特に、家庭を持たれているかたは。)何年か、臨時を経験すると、受かりやすい制度になってほしいと思う。
- ・今までの、経験などを考慮した採用をしてほしいです。
- ・3年間臨時を経験していた先生は、次の年から正規採用にして欲しい。数年臨時をすれば正規採用になる都道府県もあるときいたことがある。何年も試験を受け続けるのは精神的にも厳しいものがある。教員不足だと言われている世の中なので、どんどん臨時を経験している先生を受からせるべきだと思う。

【その他】

- ・無論、受け続けようと思うが、不合格である場合、常勤講師として他の教諭と同じように仕事をしているにも関わらず、正教諭としては雇えないと判断されているようで矛盾を感じている。教員不足であるならば、採用数を増やすことも検討してほしい。
- ・一度面接ですごく感じの悪いことを聞かれ、採用試験を受ける気がなくなった。教員は続けようと思うが、徳島県での採用試験は受けないと思う。
- ・採用試験には特に問題はないかと思います。ただ、採用予定人数の公表か、人数を決めていないのであれば、上位何人とかではなく、一定基準を満たした2次試験者は合格など公表しておいた方が、受験しているのに教員不足はおかしいと不満を感じる人は減るのかなと思います。
- ・教師の待遇改善がされれば、今後も受けたいと思うが、このまま改善されない場合は正直受けられない選択をする可能性があると思う。
- ・臨時教員として、今現在働く教師にもう少し待遇があれば有難いと思います。職務と採用試験の対策・勉強を両立することは大変です。
- ・採用試験の改善があれば採用試験を受け、また現場に戻りたいと思っている。
- ・勉強時間が確保できないため、このままの日程で進むのであれば受けても意味がないと感じる。
- ・不採用の際に点数だけでなく、理由も教えてほしい。
- ・来年無理なら、都道府県を変えるか、他の職を目指すつもりである。
- ・今後もある程度の期間を決めて受験しようと考えている。臨時の人は学校や校長からの推薦などがあれば良い。 ・一定の年齢までは続けるが、それ以上は辞退する。

自由記述欄 * 臨時教員として働いていて思うこと(喜び・悩み・不満)、職場の様子、待遇や採用制度について、また教職員の会へ一言など、何でもかまいません。お書きください。

【教員としての喜び・決意】

- ・生徒と心でつながりだすと本当に嬉しく、毎日が楽しいです。自身に対する不甲斐なさや周りの先生方への、生徒指導等でも力になりたいのにその力がないことへの無力感を感じるたびに辛くなることもあります。それでも、私の勤めているところは、全ての先生方が気さくに声をかけてくださったり、快く受け入れてくださったり、生徒たちも心を開いて話してくれたりして本当に楽しく幸せだと感じています。どの先生方も尊敬しますが、中でも本当に尊敬できる先生とも出会いました。ずっとこのまま、一生働きたいと思うくらいです。必ず別れがある仕事だと理解していますが、それでもこんなに、毎日さまざまなことを感じ、考える、面白い仕事も他に考えられないです。私は、この道に進んで本当に良かったと感じています。
- ・他の仕事をしている友人などと話す「ブラック企業」「働き過ぎ」などによく言われるが、そんなことを忘れるほど、生徒の成長がうれしい。逆に手を抜こうと思えばいくらでもできる仕事だと感じる。「自分のため」でなく、「生徒のため」に考え、模索し、動くことが教員でありたい。
- ・教員という仕事には責任や期待を多く背負わなければいけないところに、日々不安を感じながら働いています。しかし、子どもたちの成長を感じられたり、一緒に学べる楽しさは何も何も変えられないもので、これからも続けていきたいと思う。
- ・教員として働いて大変だなと思うことはありますが、生徒との関わりが好きなので頑張っています。
- ・生徒たちは本当に可愛くて、素直で、やりがいを感じる事が多々ある。そんな魅力のある素晴らしい仕事がブラックと言われるのが辛いです。教師として誇りを持って、誰からも憧れられるような仕事にしていきたいので、今後改善をお願いします。
- ・現在担任を持たせていただき大きな経験となっていますし、やりがいを強く感じています。ただ教員全体の労働環境改善がもう少し進んでほしいなと思います。
- ・生徒と共に成長出来るのは良い点。 ・楽しい。
- ・生徒が分かってくれたときはすごく嬉しいです。
- ・とてもいい職場。子どもの成長を見れるなかで感動することもあり、しんどいことはあるけどいい仕事だと思う。

【職場での差別，厳しい環境での苦悩・怒り】

- ・私は(…割愛…)年近く臨時をしています。現場では、「あなたは臨時だから」「臨時は先生じゃない。見習い以下！」「臨時のくせに…」等、臨時という立場から差別や心ない言葉をたくさん言われてきました。他の先生方や(…割愛…)と同じぐらいの仕事量もしています。ですが、“臨時”ということで、辛い思いをたくさんしてきました。このような臨時差別を理由に、私の友達もみんな臨時も教採もやめ、今は一般企業で働いています。教員不足の背景には“臨時差別”があると思います。働いていて、毎日いつも心の中には「私は臨時だからいじわるされてしまう」というつらさと不安と恐怖があります。助けてください。毎日の仕事に行くのが辛いですが、試験の免除関係で今もずっと臨時を続けています。
- ・私は臨時免許を発行し、小学校で働いています。何の専門知識もないまま、担任を任され、最初は苦悩の日々でした。他校では、養護教諭の免許しか持っていないような人が、当たり前学級担任を持っているという話も聞きます。いくら何でも都合良く臨時教員を使いすぎだと思います。臨時教員の研修の充実と待遇の改善を求めます。
- ・臨時教員であるにも関わらず、部活動の顧問を任され、教員採用試験前後も遠征が入った。また校務分掌についても正規職員は内容も理解しているかもしれないが、こちらには説明資料

も特になく、知っていて当たり前のように分担されている。せめて資料くらいは用意してほしい。教員採用試験に落ちた上で臨時教員を依頼され、正規職員と同様の仕事を投げられる状態では正直に言って厚顔と言わざるを得ないと思う。

・私の職場では起きていないが、講師の意見は通らない一方で、正教諭が同じ意見を言うという事例がある。これは、待遇が悪いのではないだろうか。仮に、同等の立場にしたいくない場合は、講師と正教諭の業務内容を差別化するべきである。

【教育行政への要望】

・各種調査・報告などの提出が多い。作成のために時間がかかって本来の業務に支障をきたすことがある。提出物の精選をしてほしい。各課で横の連携をとって同じような内容はまとめてほしい。

・正規教員と変わらない子どもから元気づけられる部分や喜びを共有できる部分がある。一方で、より負担を減らすためには、採用数や臨時教員数を増やしてほしいです。正規教員と同様の勤務時間、量のため、1次審査の対策、学習がなかなかできない部分がある。よろしくお願いします。

・来年度の連絡が3月末で遅いので、仕事が無い場合身の振り方に困る。早い段階で仕事が確保されるなら臨時で働くことへの不満は無い

・正規でも臨時でも同じくらいの仕事量をしていることが多い。私自身も常勤講師であるが、担任をし、部活の顧問をし、生徒会の仕事をしており、正規の教員と変わらないような仕事をしている。帰るのが20時を超えるのが普通になってきた。教諭と講師を分けている以上、それなりに職に見合った仕事量を割り振って欲しいと考える。

・臨時教員は新卒でも指導教員が付かず、学校によっては新卒からいきなり一人で授業を考えていかななくてはならない。初任者指導のように毎週とは言わないが授業などについて定期的に相談できる人や相談できる機関がほしい。また、メンター研修はあるが名ばかりで半年以上研修が行われていないので無意味であると思う。

・他県で正職員をしており、諸事情で退職した。その後落ち着いてから臨時職員をしながら何度か徳島の採用試験にしたが、担任業務で勉強する暇はなく結局受かることはなかった。受からせる気はあるのか。他県での経験は無視されるのはどうなのか。経験年数によつての1次免除制度があればもう少し受けやすい。

・年度途中に産休育休に入る職員の代わりがない。非常勤ではなく常勤で席を用意しなければ、引き受けてくれる人も少ないと思う。その皺寄せは現場の職員に来ている。

・非常勤講師では生活が難しく、バイトなどダブルワークになると採用試験に向けての勉強の時間の確保などが難しいと感じる。

・一次審査合格のために、勉強時間の確保をしたいので、臨時教員をするかどうか、毎年悩んでいる。臨時教員は、通常学級の担任をしないなどの配慮があると、臨時教員をする選択をしやすいく考える。

・定欠での人間ドック等、希望者が全員受けられるようにしてほしい。

・体育に関しては30代の採用が多い気がします。一生懸命頑張っても採用されず、歳上の順番やコネで採用しているのか？と思ってしまうこともあります。

・臨時教員で生涯働ける職種を作してほしい ・毎年提出しなければならない書類が多く面倒

・臨時教員にも指導者とまではいえないが、少しでも担当のような教員が必要であると感じる。

・メンターメンティ制で。 ・仕事を増やさないでほしい。 ・職場の人数が足りていない。

- ・普段の仕事量ではとてもではないが家庭を持てない。将来が不安。 ・負担が大きすぎる。
- ・我々の声を拾い上げて、県教委や文科省に届けてほしい。必ず講師の待遇改善を実現してほしい。
- ・給与をもっと上げてほしいです。生活面やモチベーションに影響します。よろしくお願いします。

【現状への様々な不満・不安】

- ・臨時教員として、1年目です。まだ、本領発揮が出来ていない状態です。というよりかは、させてもらえてない状況です。大学や隙間時間で重ねてきた勉強が無駄になりつつあります。卒業論文も、学校現場で活かせるように書いたものの意味がなくなってきました。
- ・学校で働くことは本当にやりがいがあり、楽しいので、続けたいが、採用されないのでは、将来が不安なので、辞めることも考えている。
- ・講師でも、教諭の先輩方より多くの仕事をする事ができ、時間がない場合が多いにある現状は問題があると思います。言葉選びは難しいですが、ミスも多くあまり仕事をしない教員のために講師をしているわけではないのに、と思うこともあります。
- ・教員には、いろんな人がいます。社会性の無い人など、私は会社員を(…割愛…)年ほど経験しましたが、会社ではリストラになるような人が多いです。もっと、生徒指導や生徒理解のある教員を採用してほしい。親の意見としてもです。
- ・講師の年休や待遇などの条件を管理職が把握しておらず、夏休み中などに簡単に年休を取ることを勧めてくること。
- ・組織的な仕事配分がなく、多い、少ないが人によって偏っている。働き方改革が一部にしかなくされておらず、そのシワ寄せが若年層の男性に来ている。生徒のために時間を作りたいが、公務の量が多すぎてなかなか時間が割けない。
- ・臨時教員だと担任を持ちづらい点がある。幅広い学年と関われることも良さだと思うが、担任を持てるようにしてほしい。 ・いろんな仕事が増えてきている。
- ・研修を十分に受けられない、またアドバイザーがいない状態で担任をしていくことが不安。
- ・来年度どうなるか分からないまま働くことが非常に不安である。
- ・生徒指導の経験不足でどのように対応すれば良いかわからない時がある。

【こんな声も】

- ・採用されるまでに、講師という立場から経験を積んだのは、私にとって良かったと思います。先生方は、とても良くしてくださるので、労働環境が良くなることを願っています。
- ・臨時でも時間数を気にしないで、各学校の授業スピードに合わせて働けたらベストですが、扶養に入っていると本当に時間数と給料の計算が手間で、去年まで大丈夫だったことが、突然ダメになったりなど、正直、考えることがたくさんあり、授業のことだけ考えたらいいのにとおもいます。
- ・教採に落ちても合格した人となにも変わらないのはおかしいので、それならば合格にしてほしい。
- ・はじめて臨時教員として勤めた(…割愛…)年前と比べて待遇は格段に良くなったと思っています。正規の方も含めて、看護休暇の子どもの年齢の引き上げを希望します。
- ・不満が全く無いわけではありませんが、まずは徳島で先生として働かせて頂いてることに感謝しています。今後も教職員の待遇改善をよろしくお願いします。
- ・早く正規教員として採用していただきたいです。
- ・この職は、身体に自信がある人でないときついと思いました。病気になると別の道に行くしかない。
- ・高齢((…割愛…)歳)のため退職を考えています。

